

外部評価者記入用

指定管理者評価シート(第2次評価)

所 管 課	市民生活部生活活性室文化・観光・スポーツ課
評価対象期間	平成28年4月1日～29年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	知明湖キャンプ場
	所 在 地	川西市黒川字落合381番地先
	設置目的	野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進と地域の振興に資する。
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	一般財団法人 一庫ダム湖周辺環境整備センター
	所 在 地	川西市中央町12番1号
指定管理業務の内容		<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>1, 知明湖キャンプ場の設置目的を達成するための事業の実施に関する事務 2, 知明湖キャンプ場の使用許可、使用制限、使用許可の取消等に関する事務 3, 知明湖キャンプ場の使用料の徴収及び減免に関する業務 4, 知明湖キャンプ場の使用料の還付に関する業務 5, 知明湖キャンプ場の施設及び附属設備の維持管理に関する業務 6, その他知明湖キャンプ場の設置目的を達成するため市長が必要と認めた業務</p>
指定期間		平成26年4月1日～31年3月31日

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント

1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】

(1) 施設の設置目的である事業運営の達成

【評価のポイント】

- ① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。
- ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
- ③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。

【所見】

事業計画に沿った事業が実施されている。積極的な広報活動により利用者数が増加したことが認められる。ダッチオープンセミナー等の開催を計画するなど、より一層の利用促進を図る取組みは評価される。

【改善項目】

引き続き、地域資源を活用した広報活動やキャンプ場の魅力をハード、ソフトの面からアピールする為のPRが必要である。

(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況

【評価のポイント】

- ① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。
- ② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。

【所見】

児童の自然とのふれ合いの機会を創る里山体験学習への協力等、環境保全と地域住民の福祉向上に寄与する等目的に沿った利用がなされている。

【改善項目】

野外活動が主となる為、利用者数の増減についてはとりわけ天候に左右されることが多い。そのような事態を見越したイベント等を企画しておく必要がある。

(3) 利用者の満足度

【評価のポイント】

- ① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。
- ② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。
- ③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

利用者状況については、リピーターが多いことから満足度は高いと評価できる。

【改善項目】

利用者の声をいかに聞き出すかの具体的な取組みと、利便性向上の為にその声に対していかに応えていけるかを検討する必要がある。特に、老朽化した施設等の保守・修繕など。

評価項目及び評価のポイント

2 効率性の向上に関する取組み【効率性】

(1) 経費の節減

【評価のポイント】

- ① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。
- ② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。

【所見】

経費の効率的な削減のための細部に渡る検討が加えられて、経費は必要最小限に抑えられていると認められる。その中で、利用者の安全を守るための夜間巡回業務を強化していることは評価できる。

【改善項目】

利用者への節水のお願いは、経費節減の依存度の高い項目であることから、より一層の協力をお願いする工夫をして頂きたい。

(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。

【所見】

資材販売収入等が増加していることから、利用者の利便性を考慮した取組みが奏功していると認められる。ホームページの当該項目に係る案内も良好である。また、草刈等の回数を増やすなどの地道な活動も好印象を与えると考える。その結果、利用料金収入が前年と比較し大幅に向上しているのは評価できる。

【改善項目】

利便性の向上と利用者満足を維持していくための施設の定期的、計画的修繕が必要であり、市所管課と連携しながら改善計画を組む必要がある。特に指摘のあった洋式トイレへの改修は、児童や生徒が和式に馴染んでいないことから急務であると考えます。

(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価

【評価のポイント】

- ① 収支のバランスが適切であったか。
- ② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。
- ③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。

【所見】

キャンプ場収支については利益計上されていることから適切な運営がなされていると評価する。一方で、過度の経費削減は利用者の安全性や利便性を損なう恐れもあるので注意も必要である。

【改善項目】

特になし。

評価項目及び評価のポイント

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】

(1) 管理運営の実施状況

【評価のポイント】

- ① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。
- ② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。
- ③ 施設の維持管理が適切に行われたか。
- ④ 指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。

【所見】

職員配置は適切に行われており、人材育成・研修体制についても施設の維持管理に必要とされる安全教育等の講習会へ積極的に参加する等、質の向上に努めていると認められる。

【改善項目】

特に利用者の安全確保の為の救急に関する講習会については、市所管課との連携を密にして取り組んでいく必要がある。

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など

【評価のポイント】

- ① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。
- ② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。
- ③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。
- ⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。
- ⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。

【所見】

事故防止、防犯対策については、夜間巡回を行うなど適切に行われている。防災対策についても気象警報発令時の緊急事態に対処できるようにマニュアルが整備されている。

【改善項目】

近年では気象状況の激変、地震等の緊急災害が起きる懸念が高まっていることから、従前の危機管理体制の整備・見直しと、この様な緊急事態に備える訓練の場を設ける必要があると考える。

総合評価

【所見】

事業計画に基づく運営管理が適切に行われていると評価できる。利用者の増加を意識した改善策が実行され、収支面でもさらに改善がされ、概ね良好であると認められる。一方で各地の里山でクマやイノシシ、鹿等の出没が報告されており当キャンプ場近辺でもクマの目撃情報が寄せられたこと。今後も増加すると考えられることから、厳重な注意と対策及びその場合の対応が強く求められる。

【改善項目】

キャンプ場の魅力をより強く訴求する様な情報発信を強化する等、こまめに更新等を行うことが求められる。利用者はこまめに情報をチェックしているものと思われる。また、利用者の要望を把握するためアンケートのやり方に工夫が必要であり、安全面における努力や老朽化している施設や設備の適切な管理を行われたい。